

古墳時代の ローマンの地を訪ねる

旧国名「伊予」の発祥地



三角縁神獣鏡
(愛媛県歴史文化博物館)



南伊予地域は、道後平野の古墳時代、幕開けの地です。行道山の山麓には三角縁神獣鏡の出土にみられるように、4世紀前半から大和政権の影響が強く及び、吹上の森古墳、鍛冶技術に携わる被葬者が出土した猪の窪古墳など、上野・宮下地区に多数の古墳群が集中しています。この地域は瀬戸内海をつうじた大陸・北九州と畿内をつなぐ古代の要所でありました。律令時代「伊余国造」が置かれたこの地には、伊予神社(上野)・伊曾能神社(宮下)・高忍日売神社(徳丸)・伊予豆比古命神社(居相)という「延喜式神名帳」(九二七年)に記載された式内社が集中しており、伊予郡がこの地方の重要な拠点であったことを伺わせるものです。そのため、国生み神話以前からの小地名「いよ」が旧国名「伊予」となったとされています。

おすすめ探訪



観光・宿泊施設



ウェルビア伊予
プールやテニスコート、野球場、体育館等が整備され、会議や研修会、宿泊もできる総合文化施設。
伊予市下三谷1761-1
☎089-983-4500



手作り交流市場 町家
数寄屋風の建物で、飲食店等の店舗と農産物、鮮魚、加工品など伊予市の特産品がそろっています。
伊予市米湊827-4
☎089-946-7245



伊予灘サービスエリア
道後平野や伊予灘を望む高台に位置し、エリア内には、美しい景観を一望することができる広い展望スペースがある。



えひめ森林公園
大谷池の奥にある公園の杉木立の中に本格的なキャンプ場がある。森林浴やアスレチック、バードウォッチングもあわせて楽しめる。

伊予市宮下 ☎089-946-7755(上り線) ☎089-946-7775(下り線)

伊予市上三谷 ☎089-983-3069

お問い合わせ先

伊予市観光協会

〒799-3111 愛媛県伊予市下吾川1512-6(伊予商工会議所内) ☎089-994-5852 FAX089-994-5865

ふるさと案内人ご利用案内

伊予市観光協会 ☎089-994-5852

- 【取次先】 ■てづくり交流市場 町家 伊予市米湊827-4 ☎089-946-7245
■ふたみシーサイド公園 伊予市双海町高岸甲2326 ☎089-986-0522
■なかやま特産品センター 伊予市中山町丑173-2 ☎089-967-1500

予約制/原則7日前
(但し、当日の申込についても可能な場合は対応します)
案内時間/9:00~12:00 13:00~16:00
(年末年始12月29~1月4日は除く)
利用人数/2名以上 団体の場合20名まで

南伊予

ふるさとマップ

中国・朝鮮半島からの文化や技術が早くから伝わり、有力な豪族たちが集住していました。

14 高市氏と若一皇神社



若一皇神社は高市氏の氏神である。高市氏は今治市の高市というところから移り住んできた一族である。高市氏は平清盛と繋がりが深く、源平合戦の際には平家に味方をして戦った。天正5年(1577)太閤秀吉が西国を鎮めに行く途中、若一社へ乱入し全壊したが慶長元年(1596)に三河国藤原朝臣加藤左馬介が「若一社は高市の氏神で源氏代々の鎮守だから、捨て置くことはできない」と、同年8月に再建し遷宮したのがこの若一社である。

15 多喜寺跡



源平時代に活躍した高市氏の氏寺であった多喜寺があったとされる。現在墓地になっており、ここに、「建治三年丁丑七月十三日〇〇」(1277年)と刻まれた凝灰岩製の石造層塔の一部が残っている。

16 薬師堂



薬師堂は、下三谷近江の傳宗寺の門前にある。唐様の巧緻を極めた建築物で、明治27年(1894)に下三谷の大工・川中夏吉の再建築で、市指定文化財となっている。

17 傳宗寺



傳宗寺は、真言宗智山派で、貞観8年(866)空住上人の開基である。寺所有の大般若経600巻は、室町時代の応永元年(1394)に造られた木版刷りで、市の指定文化財である。この経典は当初滋賀の佐々木八幡神社に国司が奉納したものであるが、備後の鞆の浦の安国寺に移り、後に傳宗寺に納められた。

18 旧庄屋・宮内家



宮内家は、灘町を開いた宮内兄弟方丸右衛門を祖とする。下三谷へは、六代小三郎の子の右右衛門が分家し代々庄屋を継いだ。弥一郎は徳望高く村政に貢献する。彌は第二次世界大戦後の初代愛媛県副知事に就き地方自治に貢献する。また、一乗は映画監督の伊丹万作氏と松山中学同期で親交があり万作の絵が残っている。



おすすめ探訪 Aコース ※ご希望に応じたコースで回ることもできます。
おすすめ探訪 Bコース

1 坂本日吉神社



神社は、金松山のふもとの小高いところにある。マツ・スギ・クヌギ・シイなどが生い茂り荘厳である。神社は、弘仁10年(819)嵯峨天皇の勅許により、近江国の日吉山王神社の分霊を勧請し、伊予国神崎郷一ノ宮大山積大明神に合祀したもので、入仏寺、八蔵寺が別当となり守護した。

2 猪の窪古墳



この古墳は、堅穴式石室と箱型石室がある。18m程度の円墳で、5世紀初めのものである。大人の男子と16、7歳くらいの少年の骨がほぼ完全な形で発見された。人骨は山口県の「土井ヶ浜ミュージアム」に保管されている。そのレプリカと鉄器は市立図書館に保管されている。市指定文化財である。

3 伊曾能神社と吹上の森1号墳



伊曾能神社は延喜式内社であり、神功皇后が三韓征伐に際し海上安全を祈願する祠を建て、海上守護神を祀ったといわれている。神社の周辺には吹上の森古墳群があり、1号墳からは方格四獣文鏡1面と愛媛県では初出土の筒型銅器2個等が出土している。4世紀末のこの地域の首長墓であり、市指定文化財である。

4 長泉寺と石造層塔



真言宗智山派で京都智積院が本山である。境内には文永2年(1265)願主日蓮(日通)によって作られた五層の石造層塔(市指定文化財)がある。他に2基文永2年の銘入りの五輪の塔がある。また、この寺は大坂夏の陣で名を馳せた後藤又兵衛基次の供養塔が建てられており、毎年供養の法要が盛大に行われている。

5 今岡御所跡



今岡御所跡は宮下音地の茶臼山にある。「大洲日記」によると孝靈天皇第三皇子の彦狹島命(伊予親王)が居住され、その崩御地であると記している。ここは茶臼山といわれるように、古墳時代には前方後円墳が造られたところである。市指定文化財である。

6 高地性集落のあった行道山



行道山(403m)の山頂からは、松山平野や伊予灘が一望できる。山頂付近には高地性集落の遺跡があり、弥生中期・後期の土器や石器類が出土している。また、頂上には、伊予郡24ヶ村の雨乞いをする八竜王社が祀られていたが、明治44年(1911)伊予神社境内に正一位時雨神社として合祀された。

7 本願寺



上野にあり、無量寿安養山本願寺と称し真言宗智山派で、京都智積院が本山である。建築物は本堂・庫裡・山門があり、山門西脇に鎌倉時代後期の凝灰岩の県内最大級の五輪塔の破片があり、本堂西部墓地の入り口の山麓側墓地中に、室町時代中期から後期の2塔の花岡岩の宝篋印塔が残存している。

8 伊予神社



主祭神は、月夜見命・愛比売命の2柱である。古社殿は、北面八丁の神域にわたり伊予国の国魂神鎮座の一宮として延喜式神名帳に記載の名神大社である。境内の配置は、社殿の西側面から社殿に進み、北面して礼拝するといった日本古式の様式を伝えている。境内には、朝廷の勅使が参向した時に使用する勅使橋が現存している。

9 伊予灘サービスエリア



行道山の山麓に位置し、道後平野、伊予灘を見渡せる抜群の休憩地である。特に夕景や夜景は道後平野の絶景が眺められる。また、カップルが永遠の愛を誓うとされる南京錠をかけるフェンスがあり、「恋人の聖地」として有名である。

10 旧庄屋・玉井家



玉井家は、慶長元年(1596)から上野村の庄屋となった。広大な屋敷には御成門のある白い塀が残り、藩主が鷹狩りをするための鷹小屋の建物も残っている。玉井家には多数の庄屋文書があり、その一部が昭和47年以降文部科学省資料館に保存されている。

11 大谷池



大谷池は、昭和7年(1932)、当時の南伊予の村長であった武智惣五郎が、水害と干害を防ぐため14年の歳月をかけて昭和20年(1945)に完成した。堤防の高さ35m、長さ198m、灌漑面積570haという全国屈指のため池で、平成23年全国ため池100選に選定された。

12 三角縁神獣鏡出土地



上三谷の嶺昌寺付近から、3世紀代の三角縁神獣鏡が出土している。県下では、他に今治市の古墳で出土しているのみである。この鏡を所有していたのは、この地域の首長と思われる、畿内と強い結びつきがあったものと考えられる。

13 雲居国師生誕地



雲居国師は宮城県松島の瑞巖寺中興の祖といわれている。両親は土佐の一条兼定に仕えていた。兼定は戦いで負傷を負い道後温泉で湯治することになった。兼定の乳母であった母親は道後温泉へ行く途中、上三谷の毘沙門堂で男の子を産んだ。この子が雲居国師である。市指定文化財である。